地獄に堕ちないための言葉からの学び　　担当:石田 2023 年 9 月 24 日

参考：「シヴァ神の霊言」（2020 年）：習近平の中国には正しい神が不在。自分は「（創造のための）破壊の神」だが「破壊の悪魔」（アーリマン）が他宇宙から来ている。我々はアーリマンを地球から追い出すつもり。人間は「神に似せて創られた」しかし、悪魔は「将棋の駒」と考えている（レプタリアン的）

(8)　善因善果、悪因悪果はこの世で実現するほうがよい。

地獄の実態を知れば、この世で生きている間に反省し、清算しておいたほうが、地獄に堕ちるより楽。

(88)　うぬぼれは天狗の心であり、修行者としては転落への道である。知識や情報は、悟りとは違う。だから「疑い」のジャーナリズムが「仏国土ユートピア」を創ることはない。

国際政治の情報を幾ら集めても、悟りには繋がらない。仏の衣の裾を決して離すな、悪魔が笑うだけだ。知性・理性を土台にして悟性（認識力）を磨く必要があろう。パングル、アルテミス、月読は主の側近。

(72)　日本の神々は、戦争責任を取らなかった。高天原は妖怪の巣窟と化し、国民と軍人は、何十年と火炎と飢餓の中を逃げまどった。

・「神産巣日神の霊言」:「アメリカに敗れたことにより、天御中主神と天照の考え方にひびが入った。善悪二元を分け、邪は潰す、排除するアメリカ的な近代化」日本神道の路線変更がもとめられている？

・　十字架の女(3):「日本では聖徳太子一族を皆殺しにした」「リンカンとケネディーの暗殺を指導した」聖徳太子一族滅亡の 40 年後に、記紀は編纂された。太子の月読信仰も消されてしまった。天御中主神と天照体制を近代化（El.Cantare 信仰）しないと日本は生き残れないのではないか？

(79)　仏陀を誹謗中傷した者と、正しい法を迫害した者は、基本的に仏性が凍結される。つまり、天上界、極楽に往く資格がなくなるのだ。

この仏言を（2 月 9 日）知りながら、「仏陀の命を」奪おうとした者を「岩戸隠れ」させているのかも。

(84)　悪魔や魔王は、地上で大きな力や影響力をもった者が、波長同通する時、そのものの心を乗っ取り、この世の地獄を増大させる。

世界経済フォーラムの Klaus・Schwab 先日(9 月 19 日)中国を絶賛「私は中国が大きく成長するのを目の当りにしてきた。中国は世界第二位になった。まもなく世界ナンバーワンの経済大国になるであろう。ハワイ州知事、山火事後 1000 名の児童行方不明を答えず」ウクライナの児童不明事件を知事答えず。現代にもレプタリアンの求める生贄が横行している現実がある。トランプはこれと戦っている。

(91)　救世主や、仏陀を殺したものが、許されることはない。国法も、政治信条も、マスコミ世論も通用しない。

西洋社会が救世主降臨を知った時に、日本神道の天照体制が容認されることはない。富士王朝遺跡を発掘し、月読尊、天御祖神へと続く復活神道がエルカンターレへ繋がっていることを認識すべきである。復活の祈りには「月読信仰」の復活も含まれているのかもしれない。それが日本を護り、エルカンターレ信仰を世界宗教に成長させるきっかけになるだろう。

(95)　自己保存欲、この世的自己実現欲、この世的名誉欲のために主を利用し、自己責任を逃れようとした者は、神や仏、天使や菩薩を名乗っても、永遠の業火から逃れることはできない。　*（日本神道に）信仰としてはご利益信仰しかない（『神は詩う』）。S 女の潜在意識には二代目就任までの時間が欲しい、だから主の存命を願うという自己保存欲があった。*

(98)　たとえ、転変地異や大戦争に巻き込まれようとも、主への信仰を護れ。この世は仮の世である。信仰している自分を守り抜くことが、すべてを守り抜くことになるのだ。

自分だけは助かりたい、この地域だけ助かればという心はないか？ご利益信仰中心の日本神道系に馴染んでいる場合「主を愛する純粋な信仰」が持てない性向になっているかも。高等宗教への脱皮が必須だ！